

# Windowsの機能でも2ギガ以上のテキストデータを確認できる？

整理

分析

可視

Windowsの機能でファイル確認を行う一例を紹介します。

- OS (Windows) のデータ制限 (2GB以上) によりテキストデータ (txtやcsvなど) の中身が確認できない。
- OSのデータ制限はないが、メモリ量によりテキストデータの中身が確認できない。
- 専用のアプリ・エディタを購入するのが面倒。



ピアード

元のファイルみたときに、データ型が異なってるのがあるって  
知ったときはつらい……  
信頼できないデータだと



しかたない！  
僕がなおします

- ①タスクバーの検索窓に「cmd」と入力
- ②「管理者として実行」をクリック
- ③コマンドプロンプトに命令文を入力

※メモ帳等で書いた命令文をコピーして  
右クリックで貼付けることができます。

例えば、全角と半角が混  
ざってるとか……  
ああ、チェック機能なし  
で入力してるのねん

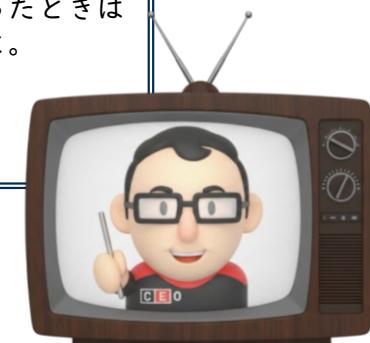
数秒でデータが抽出される  
ので、始めて使ったときは  
おどろかれますよ。  
何よりも  
特別なアプリが  
不要です！



-Skip 1  
先頭から読み飛ばす行  
※項目名あり：0  
項目名なし：1

抽出後のフルパス

-First 5  
データ確認に要する行数  
※先頭から5行抽出



③

(例) 命令文

powershell -command "Get-Content D:\test\00000000.csv | Select-Object -Skip 1-First 5 > D:\test\△△△△△△△△.txt"

対象ファイルのフルパス

抽出後のフルパス